

みやこ市民劇プレ公演

『さらば義経』を語る

岩手・宮古に  
潜んだ英雄を探る

2022年2月6日(日) 14:00

宮古市民文化会館 大ホール

入場無料 | 要整理券



主催:みやこ市民劇実行委員会・特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター  
共催:宮古市・宮古市教育委員会・岩手県沿岸広域振興局・宮古市芸術文化協会  
助成:文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)独立行政法人日本芸術文化振興会  
運営:みやこ市民劇ファクトリー・宮古市民文化会館(2021年度芸術文化事業 | コミュニティシアター)

## オープニング

### 花輪鹿子踊り (花輪鹿子踊り保存会)

根城館に居を構えた閑伊頼基の家臣、花輪次郎が芸を好んで旅をし、越後から習い覚えたのが始まりといわれています。寛永8年(1631年)には、花輪殿様で知られる南部二十九代重信公が、花輪より盛岡に召される時の御供につき、盛岡城の御前で披露して南部家の九曜紋と向鶴の紋の使用を許されたといわれています。毎年、4月の華森神社例大祭で奉納し、盆の15日には花輪伝承館で鹿子踊りを披露して祖先を供養しています。



©井田裕基

## トークセッション

宮古市内に点在する「義経伝説」の歴史的な背景や人物像についてを語り合います。

[ゲスト] 横道廣吉 (義経の会 副会長)

伊藤玲雄 (奥州市民☆文士劇『源義経-行くぞ弁慶!これがオレの決めた道-』源義経役)

| 司会 | 高橋裕二 (めんこいテレビアナウンサー)、山根真生子 (みやこ市民劇ファクトリー副会長)

## 朗読劇

2022年5月に上演する「さらば義経」の第一幕の冒頭を朗読劇でお届けします。

### さらば義経

第一幕 | 一場・二場 脚本:道又力 演出:坂田裕一 共同演出:志賀政信

悲運の英雄、源義経。源平合戦の最中、黄瀬川にて宿願であった兄頼朝との対面を果たすのだが…。平家を討ち滅ぼした立役者を待ち受ける悲劇、北へ北への逃避行、今も語り継がれる義経北行伝説は文字通り伝説なのだろうか…。時は流れて江戸中期。源平合戦から500年後の宮古代官所から物語は動き出す。

[出演] みやこ市民劇ファクトリー

伊藤賢司 斉藤好花 佐々木紅愛 白石紗彩 白石雅一 田中宣廣

松下竜之介 森田美樹子 山岸聖恋 山根真生子 吉田優哉

[スタッフ] 及川瑠璃・大槌侑心・小本真耶・白石真彩・鳥居昌子・森美琴子・吉田真理

## みやこ市民劇 テーマソング初披露

### みやこ市民劇テーマソング「カーテンコールよ、永遠に」

作詞:みやこ市民劇ファクトリー・坂田裕一 作曲:金野侑 コーラス:みやこ市民劇ファクトリー 演奏:金野侑

第三回みやこ市民劇へ向け始動するにあたり、義経伝説のように市民が盛り上がり長く歌い継いでいこうとの思いからみやこ市民劇のテーマ曲を作成しました。

## みやこ市民劇プレ公演「さらば義経」を語る

[日時] 2022年2月6日(日) 開演 14:00

(開場は開演30分前/受付は開演60分前)

[チケット] 入場無料 | 要整理券 ▶ 配布場所:宮古市民文化会館

[お問合せ] 宮古市民文化会館

窓口・電話=0193-63-2511 (受付9:00-17:00/月曜休館)

[場所] 宮古市民文化会館・大ホール

(〒027-0023 岩手県宮古市磯鶏沖2-22)

WEB=<http://iwate-arts-miyako.jp>

### <新型コロナウイルス感染症対策のお願い>

- ①37.5度以上の発熱、咳やのどの痛み、強い倦怠感などの症状がある方のご来場はお控えください。ご来場の際にはマスクを着用し、公演中もはずすことの無いようお願いいたします。
- ②客席は、舞台からの距離を確保し、客席数を制限しております。
- ③空調設備を適切に稼働させ、必要に応じて扉を開放するなど、十分な換気を行います。
- ④お花やプレゼント・差し入れはお断りしております。
- ⑤チケット配布の際にお伺いした個人情報とは当日の受付のほか、新型コロナウイルス感染者が発生した場合にのみ保健所等の公的機関へ提供することがありますのでご了承ください。

岩手・平泉を中心として県内各地に数々の伝説が残る源義経。  
二〇二二年五月にはその「義経伝説」をもとにした、第三回みやこ市民劇を公演。  
上演に先駆けて宮古の「義経伝説」を語るプレイベントを開催します。

